

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及びその効果

No.	事業名	事業概要	事業費（円）		事業の実施状況及びその効果
				うち交付金充当額（円）	
1	感染予防資材等購入事業	公共施設等における新型コロナウイルス感染症の予防のため、マスク、消毒液等の感染予防用資材を購入。	18,141,789	18,141,789	感染予防に必要なマスク、消毒等を不足なく購入し、公共施設等における新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減することができた。
2	感染予防衛生資材等購入支援事業	村民に対して、新型コロナウイルス感染症予防衛生資材等の購入費用を補助。	106,014,564	106,014,564	第1回：1万円×5,305人 第2回：1万円×5,258人 上記の現金支給により予防衛生資材の購入費用を支援し、感染リスクを軽減することができた。
3	役場庁舎換気設備改修事業	新型コロナウイルス感染症予防のため、役場庁舎の換気設備を修繕。	33,440,000	33,440,000	エアコン、温水ヒーターボイラ及び網戸・ブラインドの修繕により、役場庁舎における換気機能を向上させ、庁舎内における感染リスクを軽減することができた。
4	役場庁舎トイレ改修事業	新型コロナウイルス感染予防のための新しい生活様式に対応するため、役場庁舎内のトイレ設備を改修。	3,886,300	3,886,300	照明の自動化、換気設備の機能強化等を通して、不特定多数の者が使用するトイレにおける感染リスクを軽減することができた。
5	いちばん館トイレ改修事業	新しい生活様式に対応するため、いちばん館のトイレの洗面・照明設備の改修を行う。	1,529,000	1,529,000	照明及び水道の自動化により、不特定多数の者が使用するトイレにおける感染リスクを軽減することができた。
6	道の駅感染予防設備整備事業	道の駅における感染予防のため、屋外にテーブル、椅子等の休憩設備を整備する。	1,421,640	1,421,640	屋外に休憩設備を設置したことにより、屋内の休憩設備における密集状態を回避し、感染リスクを軽減することができた。
7	宿泊体験館きこり換気設備改修事業	宿泊体験館きこりにおける感染予防のため、換気設備を改修する。	3,146,000	3,146,000	エアコンの修繕により、換気機能を向上させ、感染リスクを軽減することができた。
8	村営住宅換気設備改修事業	村営住宅における感染予防のため、換気設備を改修する。	1,650,000	1,650,000	天窓等の修繕により、換気機能を向上させ、感染リスクを軽減することができた。
9	移動時密集軽減事業	車両での移動時における密集状態の発生による感染を予防するため、車両を購入。	5,145,685	5,145,685	車両1台を購入し、移動の際の感染リスクを軽減することができた。
10	非接触型検温サーモカメラ設置事業	公共施設等における新型コロナウイルス感染症の予防のため、非接触型検温サーモカメラを設置し、来庁者等の体温、マスク着用有無を確認する。	3,446,498	3,446,498	不特定多数の人が訪れる公共施設等にサーモカメラを設置し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減することができた。
11	監視カメラ設置事業	復興拠点における密集状態を回避するため、監視カメラを設置する。	3,124,000	3,124,000	監視カメラの活用により密集状態の発生を事前に防ぎ、感染リスクを軽減することができた。

No.	事業名	事業概要	事業費（円）		事業の実施状況及びその効果
				うち交付金充当額（円）	
12	相馬地方市町村圏組合感染予防事業	相馬地方広域市町村圏組合において感染予防に要した費用を負担。	657,000	657,000	相馬地方市町村圏組合所管事業における感染予防対策を講じることができた。
13	避難所感染対策事業	災害時に避難所として使用される地域防災センターにおける感染予防体制を整備する。	13,120,994	13,120,994	感染予防資材等の購入により、感染対策に配慮した避難所整備を行うことができた。
14	義務教育学校感染予防設備設置事業	義務教育学校における感染予防のため、インターホン等を設置。	462,000	462,000	来校者への対応のため、インターホン等を設置し、接触機会を削減することができた。
15	役場庁舎テレワーク環境等整備事業	役場庁舎におけるテレワーク環境等を整備する。	9,479,863	9,479,863	テレワークに必要なPC等の端末を導入したほか、役場庁舎に隣接するビレッジハウスにおける執務環境を整備し、役場庁舎における感染予防策を講じ、行政機能の停滞を防ぐことができた。
16	いいたての花弁PR事業	東京五輪に復興五輪の一環として飯舘村の花弁を提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期されたため、その代わりとして、花弁を村内施設や企業に配布する。	3,606,187	3,606,187	花弁の廃棄を防ぎ、村内に花弁を配布することにより、花卉農家を支援することができた。
17	ドッグラン整備事業	新型コロナウイルス感染症収束後の地域活性化のため、復興拠点にドッグランを整備する。	24,332,000	24,332,000	ドッグランの整備により、村内外から誘客し、コロナ禍においても地域活性化につなげることができた。
18	事業継続支援補助金	コロナ禍における事業継続を支援するため、中小企業・事業者に対して、支援金を支給。	8,835,000	8,835,000	16事業所に対して、計8,835,000円を支給し、コロナ禍における事業継続を支援することができた。
19	新生児応援特別給付金事業	特別定額給付金の支給基準日後に誕生した新生児の子育てを支援するため、給付金を支給する。	1,100,000	1,100,000	新生児11人に対してそれぞれ現金10万円を支給し、子育て・家計を支援することができた。
20	東日本大震災10周年動画制作事業	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、新春村民のつどいの代わりとして、東日本大震災から10年経過したことを主題とした動画を制作・配信する。	800,000	800,000	制作した動画をYouTube等で配信し、対面でのイベント開催が困難な状況でも、人と人がつながる機会を創出することができた。
21	タブレット端末導入事業	臨時休校時の在宅学習や感染機会の軽減のため、児童生徒にタブレット端末を配布する。	2,502,500	924,500	タブレット端末の導入により、遠隔学習の環境を整備することができた。
22	学校保健特別対策事業	義務教育学校に対して、感染予防に要する費用を補助。	2,000,000	1,000,000	学校における感染予防対策を講じることができた。
23	学童保育延長事業	小学校の臨時休校により学童保育の開所時間が延長になったため、延長に伴う人件費等の費用を措置。	99,000	33,000	学童保育の時間延長により、臨時休校時における保護者の子育て負担を軽減することができた。

No.	事業名	事業概要	事業費（円）		事業の実施状況及びその効果
				うち交付金充当額 （円）	
24	学校給食事業者支援事業	新型コロナウイルス感染症の蔓延による学校の臨時休校日に、給食センター職員を公共施設等の消毒業務に従事する作業員として雇い入れる。	2,280,640	2,280,640	臨時休校時においても、給食センター職員の雇用を継続し、また消毒業務により、公共施設等における感染リスクを軽減することができた。
25	学校臨時休校対策事業	学校の臨時休校により発生した給食食材提供会社に対する違約金を補助。	35,848	9,848	給食センターの違約金の支払い負担を軽減することができた。
合計			250,256,508	247,586,508	